

みんなのお金の使い道



学校教育，文化，
スポーツのため
2万4千円

一般会計の歳出額約 293 億円を
市民 1 人あたりで計算すると約
45万5千円です。そのお金は次
のように使われました。

※平成 27 年 3 月 31 日現在の人口
(64,433 人)で計算しています。



ごみ処理や
環境を守るため
9万9千円



農林水産業，
商業のため
1万6千円



市民の
福祉増進のため
14万7千円



道路，公園など
まちの整備のため
3万2千円



消防や
防災対策のため
1万6千円



その他
(市の運営など)
12万1千円

◆特別会計の決算

会計名	歳入	歳出
駐車場事業	3,661 万円	2,282 万円
国民健康保険	79 億 9,874 万円	76 億 7,023 万円
介護保険	57 億 815 万円	56 億 2,412 万円
後期高齢者医療	9 億 3,777 万円	9 億 3,709 万円
地方卸売市場事業	1,464 万円	1,449 万円
下水道事業	28 億 8,578 万円	28 億 4,762 万円
農業集落排水事業	8,494 万円	8,420 万円
小型自動車競走事業	72 億 5,114 万円	79 億 8,817 万円

◆基金残高

26 年度		25 年度	
決算年度末時 平成 27 年 3 月 31 日現在	出納閉鎖時 平成 27 年 5 月 31 日現在	決算年度末時 平成 26 年 3 月 31 日現在	出納閉鎖時 平成 26 年 5 月 31 日現在
70 億 9,397 万円	76 億 5,518 万円	64 億 2,709 万円	67 億 9,698 万円

※一般会計と特別会計すべての基金残高です。

◆地方債残高

	26 年度末	25 年度末
一般会計	297 億 3,414 万円	271 億 4,535 万円
特別会計	199 億 8,691 万円	203 億 8,842 万円
合計	497 億 2,105 万円	475 億 3,377 万円
市民 1 人あたり	約 77 万円	約 73 万円

※市民 1 人あたりの額は、それぞれの年度の 3 月 31 日現在の人口で計算しています。

語句の説明

自主財源

市税や施設利用料など，市が国や県に依存することなく自ら調達することができる財源です。

依存財源

地方交付税や国庫支出金など一定の基準に基づき，国や県から交付される財源です。

地方交付税

市の財政力に応じて，国から交付されるお金です。

国庫支出金・県支出金

事業の財源として，あらかじめ用途が決められた上で，国や県から交付されるお金です。

市債

事業を行うために，市が国や金融機関から借り入れるお金です。

義務的経費

歳出のうち，その支出が義務付けられている経費です。この割合が高いほど，新たな事業などに使えるお金が少なくなります。

投資的経費

道路，橋りょう，学校，公共施設の整備等，将来に残るものに対して支出される経費です。

公債費

市債による借入金の元利償還金と一時借入金利子の合計額です。

物件費

施設の光熱水費や維持補修費，各種委託料などの経費です。

補助費等

一部事務組合に対する負担金や各種公益団体に対する補助金などの経費です。

繰出金

一般会計から特別会計へ支出される経費です。